

岸和田市“ちきりアイランド”の人工干潟による豊かな水辺環境への取り組み



干潟見学会の状況



ハクセンシオマネキ

岸和田市沖合の阪南2区、通称「ちきりアイランド」では、現在公益財団法人大阪府都市整備推進センターにより、埋立造成工事が進められています。大阪湾では、自然海岸や干潟の多くが過去の開発により失われています。ちきりアイランドでは、失われた臨海部の親水機能を回復し、水生生物や鳥類等の生息・生育環境を創造することを目的として、平成16年2月に人工干潟を造成しています。その後の継続的な調査により、絶滅危惧種を含む多くの鳥類や水生生物が干潟に集まってきている

ことが確認されています(※1)。干潟は魚類や甲殻類の幼稚仔が生活する「ゆりかご」であり、また、水質浄化の機能も期待されています。

埋立工事中の区域であることから、人工干潟へ一般の方は普段入ることができないのですが、毎年夏には干潟観察会のために開放され、多くの皆様に参加いただいています。干潟の生き物について、専門家の解説付きで観察することができる貴重な機会ですので、ぜひ参加をご検討ください(※2)。

(※1) 生物調査の結果は、大阪府都市整備推進センターのホームページで紹介されています。



(※2) 干潟観察会は、きしわだ自然資料館を通じてお申込みください(最新イベント情報のホームページはこちら)。

